白岡ニュータウン自治会　～挨拶と花と緑の明るいニュータウン～

自治会だより

～世代超え　気持ち繋がる　ふるさとへ～

2020 秋号

夏空とニュータウン

新型コロナ自粛下の自治会活動

副会長　岩崎 明正

金木犀が匂う季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。年初に発生した新型コロナの感染拡大もまだ収まる気配を見せず、三密回避により、制限された生活を送られていることと思います。

そんな中、自治会活動にも新型コロナの影響が出ています。一つにふるさと祭りがあります。毎年、「夏祭り」あるいは「ふるさと祭り」として実施していましたが、昨年は台風により、また今年は新型コロナの感染防止から中止としました。自治会では、住民の親睦とお子さまに故郷を知ってもらうために、ふるさと祭りに代わるイベントの計画を考えています。

また、自然ゴミの自主回収も新型コロナの影響を受けました。従来、古着・古布は東南アジアに輸出されて工業用ウエス(雑巾)や軍手などに加工されていましたが、新型コロナにより消費先である工場の閉鎖が相次ぎ、今は輸出が困難になっています。そのため、先月から古着・古布の自主回収を止め、皆様にご迷惑をおかけしています。今後、再開次第、皆様にご連絡いたします。

最後に、自治会集会所の使用制限について、現在のところ多くのスポーツ活動と食事会を禁止しております。住民の皆様の健康増進と活動活性化に集会所の果たす役割は大きく、今後の新型コロナの情勢と市の対応を見ながら、使用制限を漸次解除していきます。

パンダ物語
～3丁目　さくら公園～

3丁目　K・A

お気づきでしょうか？3丁目集会所に隣接する「さくら公園」のパンダ像が生まれ変わりました。その「パンダ親子像」が周辺の皆さんにいかに親しまれ愛されていたか！

ニュータウンには七つの公園があり、それぞれは、小さいながらも親しまれ、利用され、子どもたちにも愛されているかがわかりました。かつて滑り台やブランコなども設置されていましたが、老朽化と共に危険視する声があがり、姿を消した遊具も多く、懐かしく思い出されます。

さくら公園の一角には、当初から「パンダ親子像」がありましたが、心無いいたずらからか、頭部が割れて危ない状態でした。

当初、行政の診断では、危険物として判断され、パンダ像は消える運命でした。ところが存続を希望する声と、「我が庭に置きたい」と譲り受けを希望する声まであがりました。その結果、市も修理を選択することになったのです。

割れて危険な破損部分は補修、磨いてもらって滑らかになりました。パンダ特有の模様は写真や図鑑を参考に、およそ一週間の修復作業でした。温かな存続の声と行政の粋な計らいに撤去を免れました。

パンダの親子像は、すっかりお化粧も整い、装いも新たに復活です。きょうも仲良く遊んでね！と呼びかけているようです。

梅雨空で雨つぶがうれし涙に見えたのは……私だけでしょうか。

傷んでしまったパンダ親子像

破損部分を埋め戻し、表面をなめらかに

色も塗り直して修復完了

ただいま カフェ自粛中！

新白岡令和クラブ

1日限定令和カフェ、ご利用いただきありがとうございました！

誰でも気軽に立ち寄れる憩いの場を目指して、喫茶やイベント等、お仲間との語らい、交流の場としてご活用をいただいています。

新鮮野菜のマルシェや主婦のハンドメイド作品即売会もご好評！

新型コロナウイルスのため、集会所での開催を自粛しています。再開の時は、ポスターやチラシ、11chなどでお知らせいたします。

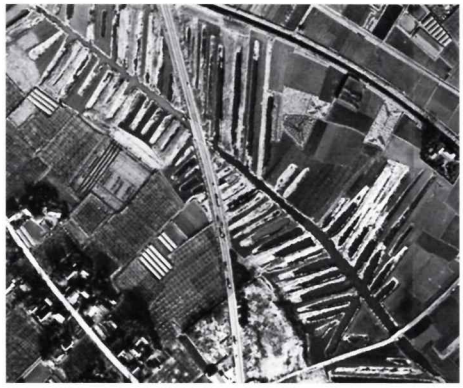
カフェ開店では、皆様のご利用、ご来店をお待ちしています。

090-1042-4362（浅井）

特別寄稿 第七回　皿沼の開発に不屈の精神で邁進

白岡人物伝　山崎禮輔

白岡市文化財保護審議会委員　板垣時夫



皿沼の掘上田

皆さんは、右の写真のような「櫛の歯状に田と水路が交互に存在する田んぼ」をご存じでしょうか。

これは掘上田（ホッッケ）と呼ばれる耕作地で、市内には皿沼のほかにも柴山沼など各地に点在していました。これらは、沼地や低湿地の開発として江戸時代から行われた新田開発の一つです。

皿沼は市西部の国道122号線の柴山沼に隣接する下大崎と荒井新田の間に位置し、皿沼の名のとおり皿状の浅い沼でした。

江戸時代の享保年間（1716～36）に井沢弥惣兵衛為永（第5回で紹介）によって皿沼の一部が開発されました。

山崎禮輔による開発

山崎禮輔は嘉永4年（1851）小久喜村（現在の小久喜）に生まれ、小久喜村の副戸長などを歴任しています。禮輔は広さ13町歩（約13ha）の皿沼開発を思い立ち、明治13年（1880）に下大崎・荒井新田両村に働きかけ、賛成を得て翌14年に関係官庁に申請して、開発が許可されました。

ただちに皿沼開拓工事に入ろうとしましたが、白岡・篠津などの各村々でもしばしば水害を受けて困っているのを知り、栢間堀の改修も同時に起工して、皿沼の水は栢間沼に排水するようにしました。当時は、土木機械もほとんどなかったので、これらの土木技術は全て人力でした。このような時代に多額の私財を投じた大事業でした。

この掘上田は軟弱な地盤なので崩れやすく、補修も大変で工事は困難を極めました。大水害より浚渫して積み上げた肥土が流出したり、河川の堤防破壊により栢間堀に土砂が流入するなど、苦労の連続でした。しかし、禮輔は不撓不屈の精神によってこの難工事を遂に完成させました。

近隣村長から感謝状を受ける

皿沼の開発及び栢間沼の改修によって、周辺の村々は大きな恩恵を受けました。これらの禮輔の大きな功績に対して、近隣の栢間村、小林村、（以上、現久喜市）大山村、篠津村の4か村から感謝状が贈られています。

山崎禮輔によって行われた皿沼の干拓事業は、実に27年間もの歳月をかけて行われたものです。この皿沼の干拓・栢間堀の開削事業により、4か村では良田172町5反6畝を得ることができ、396石3升5合の増収をみました。

その後、皿沼は昭和50年（1975）から行われた県営甫場整備事業によって用排水が完備された乾田に変わっています。

山崎　禮輔

CATVのJ：COMへの移管について

副会長　加賀谷 秀樹

白岡ニュータウン内のテレビ共聴システムが自治会運営からJ：COMに切り替わります。これに伴う今後の工事他予定は次のとおりです。

２０２１年１月より３月までJ：COMによる新ケーブル敷設工事が行われます。

J：COM施設完成後（３月予定）、J：COMへの切り替えは受信契約が必要です。

契約内容の要約

①地デジのみの月額料300円＋消費税（10年間固定）

②期間限定で加入料金等（１５，５００円）が無料です。

③加入手続きは、J：COMが戸別訪問して行います。

④自治会自主放送の11chは終了します。（J：COMのチャンネルに空きがない為）

⑤故障時は常時、J：COMが対応します。

なお、アンテナ入力のあるラジオであれば、FM放送は無料で受信可能です。

現在、パラボラアンテナでBSを受信している方はそのままで受信可能です。

オプション契約で有料放送、インターネット、電話も使用可能ですが地デジ契約とは全く別契約ですので別料金が必要です。

自治会会費「CATV口」は停止します。現施設は、J：COM移管後撤去する予定です。撤去計画など次年度総会に提案します。

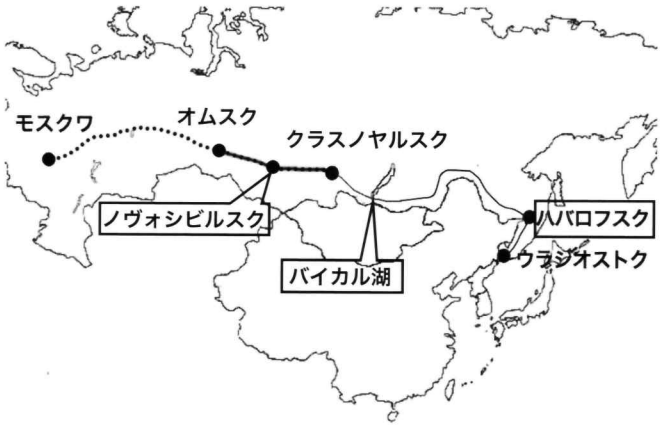
CATV 受信タワー

シベリア鉄道膝栗毛

九二九八キロ　列車の旅（4）

植木育雄

シベリアの真珠バイカル湖を過ぎ、クラスノヤルスクに達した筆者は、さらに西を目指し、モスクワ行き第99列車に乗り換えます。今回はオムスクまでの道中記です。



クラスノヤルスクは人口160万を擁するシベリアでは第二の都市。広々した駅前にはバスがあふれている。残念ながら地下鉄はない。

この町ではホテルでの数時間の休憩・シャワーのバウチャー券があるので、キャリーバッグを駅に預け、ホテルを訪ねて街歩き。日曜日とあって、家族連れなど、街行く人は若い人（私の英語が通じない）が多い。老人は少ない、殆ど見かけない。都市のわりには車も少ない。

街並はウラジオストックより新しい。ウラジオストックは古都、クラスノヤルスクは新興都市だ。赤い広場だとかソビエト風の地方庁舎、ビジネス街、公園に遊園地、映画館だとか繁華街をたどる。ファストフード店もあり町の中心地にホテルはあった。垢を落として、ベッドで暫し休み、

駅に戻る。

帰路にはスーパーに寄ってパンとバナナとジュースを補給する。バナナはセルフサービスの量り売り。

①タッチパネル画面でバナナの絵にタッチ（単価が表示される）

②台座に袋にいれたバナナを置く

③計量して値札が出て来る

④値札を袋に張り付けてレジへ

何人か前の人のやり方を学習して、マスターしたのだ。パンの種類も多く馴染みのないパンがおもしろい。

モスクワ行き　第99列車

戻った駅でキルギス人二人連れが話しかけてきた。中国人・韓国人はともかく、日本人に会うのは初めてだという風だ。相変わらずロシア人とは会話ナシ。

預けたキャリーバッグを受け取り、手荷物検査を受けて駅に入りホームに立つ。手荷物預かり所の係員は明るく親切、一方手荷物検査の係員は厳しい顔。乗るべきモスクワ行き第99列車がホームに入ってきた。

99 列車

男性車掌にパスポートを見せて乗車、乗車券・Eチケットはチェックしない。この99列車はウラジオストック発のモスクワ行き。なぜ始発からこの列車にしないのか旅行社の理由は判らない。直通の寝台券が入手できなかったのかな？但しロシア号が特別急行なら99列車は遜色、昨日までの07列車よりくすんだ感じがする。設備的には同じだが、絨毯も色褪せ埃っぽく、つなぎ目が大きくめくれている。

同室のセルビア生まれのロシア人は英語が話せる。建築関係に従事し、四日間の出張でノボシビルスクへ行くという。東京オリンピックも知っており、3歳の女の子がいて離れるのが寂しいと言っていた。だが、娘さんとは毎日スカイプで会えるのだ。お土産は甘いものだと。

さて、当方は先ほどクラスノヤルスクのスーパーで仕入れたパン、日本から持ち込んだレトルト野菜スープで夕食とし5泊目の車中となった。

5月20日(月)タイガ5時49分発。線路脇にはタンポポが咲き、白い色をつけた樹木、線路沿いに連なって咲く様子はとても美しい。

タイガという寒そうな町を過ぎ、徐々に気候帯が温かくなってきたようだ。食堂車から朝食のボックスが届く。中身は前回と同じパンとサラミと水、クッキー。同様に昼食セットも届く。中身は少し変わってタコスのようなもの。

10時31分シベリア第一の都市ノボシビルスクに到着。

ノボシビルスク駅構内

ロシア全土でもモスクワ・サンクトペテルブルグに次ぐ第三の都市ノボシビルスクを発車。北極海へ注ぐ、オビ川を渡る。

白岡ニュータウン自治会
自治会だより
2020年 秋号
2020年10月1日発行（年3回発行）発行・白岡ニュータウン自治会　制作・広報部

＊ シベリア鉄道膝栗毛　9,298キロ列車の旅（4）＊

バラビンスカヤ平原を突っ切るように快走。1キロを30秒＝時速120キロ、周囲は湖沼を交えた草原が広がる。人家も絶えてない。機関車の最高速度は160キロ、客車は140か160キロ、性能いっぱいの走りが続く。

13時48分着のバラビンスクでは跨線橋から柵越しに、ホームから締め出された物売り達が地元産らしき干し魚や毛皮などをホームの客に必死になって声を上げて売っている。中にはおもちゃなどを売っている者もいる。手に持てるだけの限られた品物を売る小商い。何の足しになるのかと思う。

となりホームでは、さりげないふりをしたおばちゃんが3人、干し魚を詰めたビニール袋を持ち、たむろしている。そのうち2人の警官が現れ、おばちゃん2人を連行しようとするが激しい抵抗にあい、連行をあきらめた。おばちゃん達も去っていく。寸分おかずにそのホームに列車が到着、おばちゃん達は小遣い稼ぎのチャンスを喪失。

長い停車時間にストレッチ

列車は快走再開。農業地帯なのか牧畜地帯なのか未開地なのか不明。水があふれて線路間近に迫るところもある。雪解け水なのかな？すれ違いの貨物列車が減ってきたようだ。昨日、日曜日だったからかな？

車内清掃に男性車掌が来る。07列車の女性車掌より無愛想。男性車掌の来ない時は女性車掌だ。車掌室は同じ個室だ。2人は夫婦な感じ。女性車掌は休憩時はオレンジ色の部屋着を着て車掌室で寛いでるんだもんね。

オムスク16時42分着。1時間停車。するとバキュームカーが2台、車両に横付けし作業開始。トイレはタンク式で垂れ流しでないし、ましてや7泊8日も走りゃあこういう作業が必要なのだ。今日、その現場を見るのは初めてだが夜間寝てる間の停車時間にも作業されていたに違いない。20両近く繋いでいるので順番待ちでも時間がかかる。

反対側のホームでは窓に金網が張られた車両から、黒い服を着た7、8人の人物が後ろ手に縛られ、ホームに乗り入れた護送車らしきものに送られていた。周りのロシア人たちもジッと無言で眺める様子だった。

スターリンの収容所列島時代を思わせる暗い時間が流れた。彼らはどこに送られるのだろう、彼らの未来は？

バキューム作業に手間取ったのか、18時05分発、1時間23分の停車後発車。

（次回号につづく）

編集後記

9月に入ってなお30度超えの日々。この暑さは一体いつまで続くのかとげんなりしつつ、ただ過ぎ去っていくだけの夏にもの寂しさを覚える。

エネルギーに満ちる季節、不完全燃焼は似合わない。来年は存分に発散できると良い。

広報部　岡田

発行　白岡ニュータウン自治会　会長 半沢　茂　埼玉県白岡市新白岡2-17-14　TEL/FAX 0480-93-5133
ホームページ　http://ntjitikai.sakura.ne.jp　または、白岡ニュータウン自治会　検索